

彩小ふれあいだより

平成23年3月9日

低学年へおはなし会～にわとりかあさん

島市立彩が丘小学校
長 竹川 智子



3月8日(火)2・3時間目、1・2年生に1時間ずつ、読み聞かせボランティア“にわとりかあさん”によるおはなし会が開かれました。「ぼちぼちいこか」「新聞紙話」「びゅんびゅんごまがまわったら」「ブレーメンの音楽隊」の4つお話と「拍手で遊ぼう」の手遊びです。「新聞紙話」はタイトルの通り、新聞紙がお話にそって「ホース はしご 舟 救命胴衣」に次々変わります。宮川ひろ作、林明子絵「びゅんびゅんごま～」(童心社)のお話は挿絵が大型スクリーンに映し出されました。閉鎖されてしまった遊び場の開放を求めて、子どもたちと校長先生との駆け引き?が楽しい形で描かれています。びゅんびゅんごまに限らず竹馬や自然にあるものを使った遊びなど、昔ながらの遊びを嬉々としてやっている子どもたちと校長先生の無邪気さが素敵に描かれている珠玉の絵本だと思います。4つものびゅんびゅんごまを手足を巧く使って同時に回すこと。実は本校石田教頭先生ににわとりかあさんから宿題が出ており、びゅんびゅんごまを秘密猛特訓の末に披露しました。2年生の会ではなんと!本当に4つのびゅんびゅんごま回しに成功しました。子どもたちから拍手喝采、尊敬のまなざしで見られていました。ぼくもした～い!の要望に応じて、こまのプレゼントもしていただきました。(4つ回しができる子いるかな?教

頭先生に挑戦しよう！)「ブレーメン～」はブラックライトに照らし、幻想的なパネルシアターです。電子ピアノでのBGMと擬音効果、歌、手足首が動く人形。どれも工夫されておりとても素晴らしいものでした。

にわとりかあさんの皆さんは中高生の大きなお子さんがおられる方が多いのですが、夢中になってお話の世界を楽しんでいる低学年の子どもたちの姿に大変喜んでくださいました。質の高い素晴らしい活動です。彩が丘の誇りだと思っています。

